

ホームページへの掲載	
済	平成29年7月13日

岐阜県立池田高等学校

学校長 野畑 伸芳
学校住所 揖斐郡池田町六之井242-1 電話 0585-45-7755

- 1 会議の名称 平成29年度岐阜県立池田高等学校第1回学校評議員会
- 2 会議の構成
委員 飯田 静世 子育てボランティア団体代表
岡崎 眞治 太陽工業(株) 常務取締役
小林 月子 サンビレッジ国際医療福祉専門学校長
西川 菊雄 池田町上田区長
野原 恵子 元池田高等学校育友会役員
(委員名は五十音順)
学校側 野畑 伸芳 校長
藤吉 和彦 教頭
小野 信幸 事務長
桐山 竹司 教務主任
福島 秀一 生徒指導主事
水上 尊雄 進路指導主事
- 3 会議の目的 学校運営等について地域住民から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成29年6月15日(木) 13:30~15:30 池田高校会議室
委員5名と学校側6人の全員出席
今回は、平成29年度岐阜県立池田高等学校活性化協議会を兼ねて開催した。
- 5 会議の概要

テーマ：「生徒一人一人を大切にす活力あふれる学校をめざして」

- 1 平成29年度の池田高校の取組について(学校側からの説明)
- 2 委員と学校側との意見交換

意見1：先生方が元気でやる気に溢れていることを実感した。10年後には現在ある仕事の半分はなくなるといわれている(オックスフォード大学のマイケル・オズボーン教授)が、人間でなければできない仕事が多い医療系の仕事は残る。その分野に関心ある生徒が増えていることは、池田高校の果たす役割は大きく、心強く感じた。そういった分野で地元に戻ってくる人材を育てることは地域の豊かさに繋がるのではないか。

意見2：4年目に来校した時と比べると生徒も先生もたいへん生き生きとしており、本当に学校が活性化しているのを感じる。ボランティアの挑戦として、子育て・デイサービス支援では生徒たちにお世話になっておりとてもありがたい。本年度は更に幅を広げ、神戸町と池田町が一緒になって活動展開できるとよいと考えている。

意見3：先日池田町ほたる祭りをを行い、本校の家庭クラブの皆さんがブースを設けて、地域の環境保全についての研究成果を発表するとともに、お祭りに参加した小中学生を対象に地元池田町の環境について考えるゲームや、生活環境を守るためのパンフレットや、家庭クラブで作成した廃油から作った石鹼やアクリルたわしを配付していただくなど、地域に根ざした活動を行っていただきたいへん助かった。今後もよろしくお願いいたします。

6 会議のまとめ

授業を参観していただき、落ち着いた授業の雰囲気や生徒の様子等から、学校が望ましい方向に進んでいる点を評価していただいた。

会議では、ESD活動を通じて校内の教育活動だけでなく積極的に地域と連携した活動を進めていることを、委員から評価と応援のご意見をいただいた。また、今年度は平成29年度岐阜県立池田高等学校活性化協議会を兼ねて開催したことから、地元の県議をはじめ、池田

町、神戸町から町長と教育長、地元中学校長、池田町商工会長が出席し、活力ある学校づくりについて幅広く意見をいただくことができ、今後いただいたご意見を参考に積極的かつ具体的な取組を進めていきたい。